



## 矢之脇若返り会（奄美市）

発表者：才 田 一 男 氏

矢之脇若返り会の才田でございます。

### 1 はじめに

奄美市名瀬矢之脇町は、世帯数が325世帯、人口が551人。矢之脇若返り会は、名瀬矢之脇町を活動拠点とする老人クラブです。

昭和41年4月1日に結成され、会員は男性20人、女性73人の合計93人です。役員は12人です。町内のあるお母さんの活動がきっかけとなって、昭和34年に「矢之脇子供会」が結成され、子供会の活発な活動に触発されて、昭和36年「矢之脇町自治会」が結成されました。子供会や、自治会の青年部、婦人部の皆さんの活動が活発になったことで、高齢者は取り残された形となってしまいました。

そこで、「高齢者は高齢者同士」ということで、老人クラブ「矢之脇若返り会」が結成されました。それが、昭和41年4月1日です。なお、総会は毎年4月に開催されます。

### 2 花いっぱい運動

#### (1) お花見会

これは会員が咲かせた花です。

矢之脇若返り会の皆さんが、ユリの球根、土、プランターを希望者に配り、球根の植え方、水やり、肥料の入れ方などを教えてもらい、翌年見事に咲き誇ったユリを、プランターごと公園に集め、馥郁とした香りに包まれながら、お花見会



をしました。公園には、子供達のために、若返り会が飾った鯉のぼりが泳ぎ、美味しい料理に舌鼓を打ちながら、楽しい、素晴らしいお花見会となりました。



## (2) 花壇づくり

若返り会の花壇をみんなで手入れして、花の苗を植えたり、球根を植えたり、素晴らしい花壇を作り、四季折々の花を楽しんでいます。

## 3 グラウンドゴルフ

グラウンドゴルフの道具一式を、若返り会で購入し、かねての練習にも役立てています。そして、市内で開催されるグラウンドゴルフ大会に参加したりして、楽しんでいます。毎年全国一斉に開催される「チャレンジデー」には、毎年グラウンドゴルフで参加し、今年の「チャレンジデー2018」にも参加いたしました。健康づくりもできて、さらに練習後のお茶会が素晴らしく、楽しみのひとつです。

## 4 防災訓練

防災訓練は、私たち高齢者にとって重要な位置づけをされているものです。

奄美市が主催する防災訓練に、矢之脇町自治会が参加し、矢之脇町一帯で実施されます。私たち老人クラブは、自治会の指示により、避難場所へ避難します。要支援者には早めに対応し、避難場所へ誘導します。消防車による消火訓練や、消防署からの防災講話もあります。



矢之脇若返り会では、市役所の防災担当者を講師に招き、自治会館で「自主防災研修」をしました。避難場所、避難方法などの話を聞いたり、若返り会会員の中の要支援者を対象に、マップ作りもしています。

## 5 世代間交流活動等

世代間交流では、子供会と私たち老人クラブが一緒になっているような活動を行います。

夏休み期間中には、紙芝居を見せたり、手遊び、昔遊び、七夕づくりをしたり、また、冬休みには「餅つき大会」や「ぜんざい会」をします。世代間交流をすることによって、子供達は、おじいちゃん、おばあちゃんの顔を覚え、道で会ったときに声をかけるようになります。



### (1) 紙芝居

ある年に干支の物語を紙芝居にして子供達に見せました。紙芝居の絵と文字を一枚一枚手書きした、正に手作りの紙芝居です。子供達は興味津々、大喜びして見入っていました。

### (2) 七夕づくり・七夕飾り

これは奄美市の法人会女性部会が、中央通り商店街を活性化しようと始めた活動です。平成17年から始めて、今私たちが参加し始めて13年が経ちました。

七夕の材料費や捕食費は若返り会が負担します。自治会館でワイワイ言いながら、賑やかに二日間かけて七夕飾りが出来上が



ります。子供会と老人クラブのみんなが、一生懸命作ったたくさんの七夕を、中央通り商店街に飾っていきます。

旧暦7月7日の七夕様が近づくと、女性部会が指定した場所に七夕を飾ります。中央通りのアーケード街に、子供会用、若返り会用として1本ずつ飾っていきます。これが飾っている様子です。子供会の分は矢之脇公園でラジオ体操が終わった後、みんなで1本立てます。

### (3) 夏休みラジオ体操

夏休みに矢之脇公園でラジオ体操の指導をし始めて、約40年になります。子供達から「ラジオ体操のおじちゃん」と呼ばれるので嬉しいです。

特にラジオ体操で感じるのは、「ラジオ体操の仕方を、学校でもっと指導して欲しなあ!」ということです。去る8月10日に岡山嗣夫さんというラジオ体操の指導士に来ていただいて、指導を受けることができました。

### (4) 冬休み餅つき大会

自治会館で老人クラブの方が餅をついて、子供会のお母さんがこねて、子供達ひとりひとりに餅つきをさせます。そして、餅の丸め方を習い、紅餅、白餅、あんこ餅、きなこ餅など作って、子供達は食べて大喜びします。

(5) やのわき祭り

これは、矢之脇自治会が開催する「やのわき祭り」です。

老人クラブは「矢之脇若返り合唱団」で参加しました。

(6) 敬老の日の集い

かつて、敬老の日には対象者に、それぞれ記念品を差し上げていましたが、「みんな楽しんで方法はなにか」ということで相談し、「敬老の日の集い」を開催することにしました。記念品をあげたり、お食事会をしたり、余興をしたりして楽しめます。特に劇の中で、助さん、格さんに八兵衛なども出て来たりして、矢之脇村の悪代官をやっつけるなど、楽しい余興で盛り上がります。

85歳になられる方と、90歳以上の方には記念品を差し上げております。

(7) 施設訪問活動

ある年、私たちと一緒に活動していた会員が、施設に入所することになり、そのお見舞いに出かけました。その出先で、歌ったり、踊ったり、また最後には、入所されている方々と一緒に、手を握りながらお話をしたりして楽しく過ごしました。その楽しい時間が、私たちにとりましても非常に感動するものでした。

それから、施設訪問をしようということになり、年間活動の中で施設訪問を取り入れることにしました。これで、私たち老人クラブも、施設の皆さんも非常に勇気づけられて、元気になっていきました。

「住用の園」、「奄美佳南園」、「なぎさ園」といった奄美市内の各施設を、それぞれ年一か所ずつ訪問しています。これは、施設訪問の際に私たちが、皆さんに踊って見せているところです。施設の方々が、ほんとに心から喜ぶ様子を見て、私たちも元気になっていきます。



(8) 一日遠足

一日遠足ですが、笠利町までバスで行って、帰りに龍郷町にある三沢あけみの記念



碑の前で、三沢あけみが歌った「島のブルース」。スイッチを押すと直ぐ鳴り出しますので、みんなで楽しく踊りました。

ある時は、奄美看護福祉専門学校に行き、奄美の薬草作りの研修をしたこともありました。

一日遠足を楽しみに、バスで行きますので、たまにバス酔いする方もいますが、皆さんが楽しいということで喜んでいただいております。

#### (9) 忘年会

年1回12月にみんなで集まって、年間のあらゆる話、暮らしの話等、何でもできる忘年会は、毎年開催している楽しい活動です。時にはサンタのプレゼントの交換ということで、誰の何のプレゼントが当たるかわくわくすることもあります。余興は、歌や踊りのほか、助さん、格さん、おぎん、



飛び猿が出てきて「やのわき村の悪代官」を退治して、私たちみんなが幸せになった話です。とにかくみんなが大笑いする「やのわきの忘年会」です。

#### (10) 他老人クラブとの交流会

私たち矢之脇若返り会は、大島郡龍郷町の「上戸口老人クラブあけぼの会」との交流もして、私たちが上戸口に行き、ふれあい活動をしました。次の時は、名瀬に来ていただいて、矢之脇で交流会をしました。矢之脇に「らんかん山」という山があって、そこに桜の花がいっぱい咲きます。その満開の桜を見ながら交流会をしたのですが、ずっと前に、その桜一本一本を植え付けた方が、上戸口の老人クラブの中におられて、満開の桜を見ながら、その桜を植えられたいきさつをお聞きして、感動したところでした。

このように、他の老人クラブと交流会をしていますが、今年は、11月に笠利町にある「屋仁老人クラブ」との交流会をすることになっており、今、その計画を一生懸命進めているところです。



### (11) 役員会

役員会は資料を作って、これまでの経過報告をして、また次に何をするかという活動計画の話し合いをします。役員会は年間8回から12回行われ、いろいろな話をして、その決定したことを、頑張って次の活動に生かすようにしています。各役員は12名おりますが、来れない方もいたりして、必ずしも12名来るということではありませんが、いろいろなことを話し合っております。

### (12) 会報誌「らんかんやま」

これは、私たちが発行している会報「らんかんやま」という情報誌です。平成26年10月5日に第1号が発行され、今現在で94号まで作られております。

活動の前に「こういう活動をしますから集まってください」そして活動が終わった時に「こういう活動がこんな風にできました」ということを、会員の皆様にお知らせしております。「らんかんやま」を作ることによって、皆さんに、老人クラブ矢之若返り会の活動状況をお知らせし、そして参加していただくように、私たちが情報提供をしているところです。



## 6 おわりに

以上のような私たちの活動でございますが、どうぞ参考になるようなことがあれば、参考にさせていただければと思います。

本日は誠にご清聴ありがとうございました。